

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」



事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 - II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 - III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 - IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 - V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福島県 】

学校名【 郡山市立高瀬小学校 】

1 実践テーマ	Ⅲ
2 実施対象者 (学 年・人 数)	第1学年(34名) 第2学年(42名) 第3学年(44名) 第4学年(35名) 第5学年(47名) 第6学年(39名)
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名(総合的な学習の時間・生活科)</p> <p>② 行事名()</p> <p>③ その他()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目 標 (ねらい)	<p>○パラリンピックについて知り、興味・関心を高める。</p> <p>○パラリンピックの競技について知り、ルールを工夫することで障害のある人でもスポーツに取り組んでいることを理解する。</p> <p>○パラリンピック選手との交流やパラリンピック競技の体験を通し、自分も粘り強くやり遂げようとする意欲を高める。</p>
5 取組内容	<p>(1) オリンピックについて学ぼう。</p> <p>○オリンピックの目的について知る。</p> <p>○オリンピックのビデオを見る。</p> <p>○今年の東京オリンピック・パラリンピックについての概要を知る。</p> <p>○オリンピックとパラリンピックの目的と今年日本の東京で開催されることを知る。</p> <p>(2) パラリンピックについて学ぼう。</p> <p>○ I'm POSSIBLE の「パラリンピックってなんだろう？」を用いた授業</p> <p>○パラリンピックの考え方を知り競技種目に興味関心を持つ。</p> <p>(3) ボッチャの体験教室(第1学年～第3学年)</p> <p>○県障がい者スポーツ協会 支援員 丸山内 雄大 先生を講師として、パラリンピックの正式種目であるボッチャの歴史やルールを学び、実際に競技体験する。</p> <p>(4) パラリンピック選手の方の講演会(第4学年～第6学年)</p> <p>○シドニーパラリンピック車いすバスケットボール 銅メダリスト 増子 恵美 先生にパラリンピックの歴史や理念、先生ご自身の体験されたことなどを教えていただく。</p>

	
<p>6 主な成果</p>	<p>パラリンピックの正式種目であるボッチャの楽しさを存分に味わうことができた。また、パラリンピックの歴史や理念、講師の先生ご自身が体験されたことなどを教えていただいた。これらの活動を通し、子どもたちは、パラリンピック競技の素晴らしさ、人を思いやることの大切さ、努力することの大切さを学ぶことができた。</p> <div data-bbox="549 1019 858 1467">  <p>ボッチャはじめてやったのでむずかしかったです。ボッチャのたいへんさをよく学びました。しょうがいのある人はもったいないそつです。パラリンピックはみたことないでみてみたいです。ありがとうございます。</p> </div> <div data-bbox="879 1019 1303 1467"> <p>今回、増子さんのお話を聞いて、増子さんが勝った銅メダルには、努力がまわっているのだと想像しました。もしも、自分がいきなり手足が動かなくなったら、悲しみと人生終わ、た...という絶望感でひきこも、てしまいます。ですが、増子さんは、最初は私と似ている気持ちにな、ても、心機一転して立ち直、たので尊敬しました。また、今習、ている水泳で練習が辛いとすぐ休んでしまいます。だから、そのクセを早く直して、増子さんのように努力しながら、世界一を目指して頑張りたいです。</p> </div>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>○O! mPOSSIBLE など視覚にうったえる教材を多く活用し理解を図った。 ○講師の先生に来ていただくなど本物に触れる機会を設けた。 ○OHP や学校便りで保護者や地域に啓蒙を図った。 ○全校生の目に触れる場に、児童の学習した内容が分かる掲示物を作成し他学年に知らせた。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>○共生社会への実現に向けて「障がいを持つ人」について福祉の観点から理解を深めるための教育活動を教育課程に位置付けていくことが必要である。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>○福島県出身のパラリンピック選手の出場する種目について調べ観戦応援をする。</p>